

19	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	17106006	流域圏の土砂・栄養塩動態の解明および統合管理技術の開発－亜熱帯流域を対象として－	池田 駿介（東京工業大学・大学院理工学研究科・教授）	A
<p>(意見等)</p> <p>水の流れ、物質輸送が本研究の主体であり、循環系の精密なモデル化が大きな目的の1つであるが、現在の発表は速報にとどまっており、質の高い雑誌への掲載など世界的発信はなされていない。</p> <p>しかしながら、順調に現地観測およびシミュレーションが進められている。サンゴの生息に関する実験は更なる成果が期待される。</p> <p>今後、第3の目標であるアジアへの技術移転の検討を進めて欲しい。</p>				
20	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	17106007	都市内水資源の持続的活用のための次世代MBR開発	山本 和夫（東京大学・環境安全研究センター・教授）	A
<p>(意見等)</p> <p>国際ジャーナルにも鋭意発表されており、研究レベルは高いと判断されるが、主要論文は研究代表者、分担者が第1著者でないのが気になる。</p> <p>しかしながら、系統的で計画性に優れたMBR開発の研究が進められており、具体的な進展も明確であり、更なる推進が期待されよう。</p> <p>なお、タイトルに掲げられている水資源の活用、エネルギー消費の少ない実用機などについての見通し、考え方が今後示されるべきである。</p>				